

放送大学

北海道同窓会会報

第 14 号

発行 放送大学北海道同窓会
<http://www.hhdoso.sakura.ne.jp/>
編集 広報担当
発行日 2009 年 8 月 12 日(水)
発行責任者 中根恵美子

会員数 161 名(2009 年 4 月 30 日現在)

第 5 回全道生涯学習研究発表会が、去る 6 月 6 日道民カレッジ連携講座連携で、無事終了致しました。お陰様で大変好評の感想が寄せられて終わることが出来ました。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。また道民カレッジ生の皆様も多数ご参加くださいました。放送大学北海道同窓会を通して、放送大学をより理解していただき、多くの学生が入学・卒業し、社会貢献できたならば幸いです。この会報の紙上にて、改めてお礼を申し上げます。又、放送大学北海道学習センター富田所長よりのメッセージを今回の発表会に出席できなかった方々にも知って頂きたく全文を掲載しました。

放送大学北海道同窓会長 中根 恵美子

全道生涯学習研究発表会に寄せて

今回で 5 回目になる全道生涯学習研究発表会が放送大学北海道同窓会の主催で開かれることは大変喜ばしいことです。この会は、故牧野金太郎同窓会会長の音頭で始まったものであり、また同氏は、この会をきっかけに道民カレッジとの関係を強めていただき、去年は、道民カレッジとの連携契約まで結ぶことができることになりました。真に素晴らしいことであります。改めて故牧野氏の炯眼に感謝するところです。放送大学の同窓会らしい特徴ある活動と高く評価されるものであります。高い評価ができる理由として、立派な講師を迎えて講演を頂き、学ぶことは大切なことですが、これに加えて、放送大学の学生、卒業生から体験発表と研究発表を頂くことが上げられます。Reading is Learning, Seeing is Believing, そして Doing is Knowing であります。また Teaching is Studying であると思います。今回の発表会は、道民カレッジの単位にもなるわけで非常に重要なものになったとそのプログラムの充実振りに感動しております。

同窓会の活動には、通常の大学のそれに見られるように同窓生の Reunion、即ち「同じ学校を卒業したものの同士が、当時を振り返る為に集まり催される会」というのが一般的な活動であります。しかしながらこのような Outreach Activity (一般の社会の中に飛び込んで、そこに新たな話題を提供し、共に学習する)を行うことは、放送大学で学んだ方々の高い意識のもとで現われてきたものと高く評価できるものです。私としては、このような活動を通じて改めて放送大学のよさを語り合い、これからの時代を先取りする生き方を自ら進めるとともに、生涯学習を一つの重要な使命としている本学をもっと広く知らしめていただきたいと願っております。できることならばこのような活動を少なくとも旭川にあるサテライト、そして北見、帯広、函館の学習室でも同時に参加できるようになれば素晴らしいことではないかと願っております。

今日の IT(情報通信技術)の進歩で、光ケーブル網が張り巡らされるようになっているからです。私としても広域をカバーする遠隔教育を生涯学習に加えてもう一つの使命としている本学にはこのような基盤整備が必要でしょう。これは、私がやるべき役目と心に込めております。これからもこのような放送大学らしい Outreach Activity がどんどん出てくることを期待しております。

放送大学北海道学習センター 所長 富田 房 男

「第5回全道生涯学習研究発表会」に参加して

体験発表「若年認知症について」

北海道若年認知症の人と家族の会

会長 木村邦弘氏

この度は、「第5回全道生涯学習研究発表会」に若年認知症についての体験発表の機会を頂ありがとうございました。気軽に引き受けたものの果たしてお役に立てるかいささか心配でしたが、事務局のアドバイスを得て何とかやり遂げることができ、安堵しているところです。

今日の超高齢化社会において「認知症」は大きな社会問題であることは周知のことですが、40・50代で発症する「若年認知症」は、本人はもとより家族にとってもその精神的・経済的負担は図り知れません。最近になり漸く社会的理解も進み、国や自治体の対策も歩み出したところ

です。
このような時期での今回の体験発表はタイムリーな機会でした。とりわけ、私にとって今回は発表者であると同時に奥田仁先生の記念講演から大変貴重な視点を学ぶことが出来、今後の活動へのエネルギーを貰うことができました。それは、今日の社会保障の貧困の根源に「黄金の80年」の日本型フォーディズムが公共投資と輸出に依存し、福祉・教育を切り捨てた結果として、高齢者や障害者をはじめ膨大な失業・低賃金・非正規と言う社会的な労働力の浪費・損失を生みだしていると言う指摘で、若年認知症に対する制度改善や就労支援を求める活動へ大きな励ましとなりました。

今後とも学び合いながら、皆様の活動が益々発展されることを祈念致します。

第5回全道生涯学習研究発表会の報告

放送大学北海道同窓会

全道生涯学習研究発表会実行委員会

道民カレッジ生も参加も得て、多数の方のご参加で、記念講演・2人の発表そして多くの質問と活発な意見が交差しながら、有意義な発表会にさせていただきました。

記念講演：今後の北海道経済と雇用について

北海学園大学経済学部教授 博士（農学）奥田 仁 氏

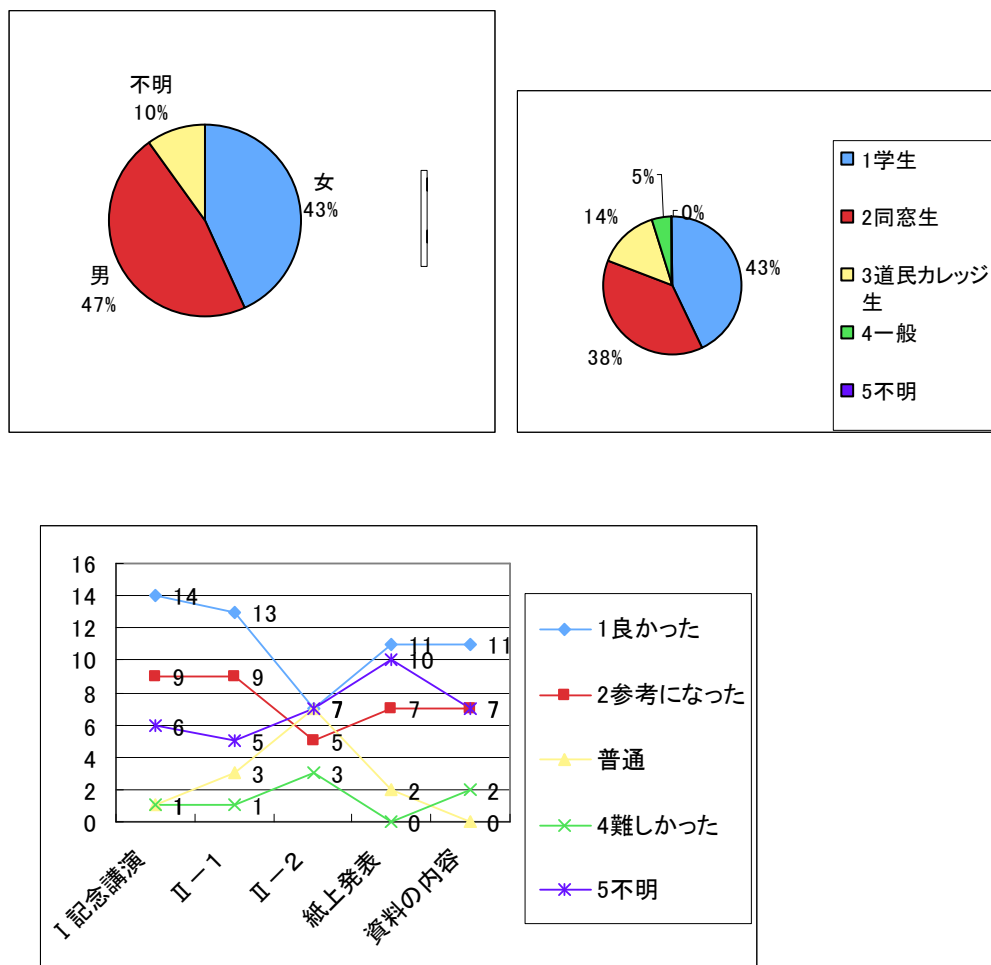
北海道経済の現況・変遷を確認した上で、グローバル化した国際経済から受ける地域経済への影響で産業の空洞化が進み地場産業・農業の危機を学んだ。これを踏まえ、豊かさの中の貧困の広がりに対してオルタナティブ（もう一つの社会）の模索をし、コスト型競争から非コスト型競争経済など人間のための経済を確立する必要性を学んだ。また、地域の内発的発展を目指すためには人々の労働力の質の向上とそれを有効活用すること及び、知恵とお金が地域の中で回る仕組みを作ることであり、国などの広域的な援助を前提とした自治体の政策的取り組みが重要であると実感した。

「豊かさのある住まいのかたち～北海道にふさわしい住いとは～」

放送大学卒業生 武井章二 氏

北欧スウェーデンまったく暖房する必要のない無断房住宅の構造から、熱源は人の体温や暮らしから出るわずかな熱、家全体を厚さ45センチの断熱材でくるみ窓は3重窓で、他にも熱を逃がさないさまざまな工夫が凝らされ零下20度でも暖房なしでも快適に暮らせる住宅であり低炭素の文明の説明があり北海道でも建設可能かどうかBISの参考文献を参考に事例研究も交えて比較されました。

第5回全道生涯学習研究発表会のアンケート結果



上記の通り出席者の割合で同窓会会員が38%と昨年と同率で横ばいであったことから、会員の参加割合50%を目標にして、より充実した魅力的な第6回全道生涯学習発表会にしたいと思いますので、要望や意見を積極的に頂きたいと思います。宜しくご協力お願い申し上げます。

第6回 全道生涯学習研究発表会の発表者募集

－皆様の研究＜発表概要＞＜発表内容＞
を募集しています－

要綱：A4用紙1～2枚程度の概要を同窓会までお寄せください。

発表内容は、後日改めて提出をお願いいたします。

問合せ先：北海道同窓会

先般よりご連絡しておりました通り、北海道同窓会では北海道学習センターの後援も得まして、この秋初の試み『ラテン音楽の夕べ』を開催する運びとなりました。ホームページや学習センター掲示板ではすでに告知しておりますが、ここに改めて詳細をご連絡させていただきます。

-特別企画- ラテン音楽の夕べ

日時：21年9月19日（土）18:00～ 開場 17:30

会場：遠友学舎（札幌市北区北19条西7丁目）

演奏：I・MA-T O

前売券 2,000 円 当日券 2,500 円

同窓会会員前売券 1,700 円

（お一人様2枚まで 3枚目からは2,000円となります）



遠友学舎

会場の遠友学舎は、放送大学北海道学習センターを出ると左に約 300m ほど進んだところにある（エルムトンネルの北側）、壁面はガラス張り、茶色い三角屋根の建物です。地下鉄北18条駅を利用されていた皆様には、既におなじみなものの、「あの建物はいったい何？」と思われていた方も多いでしょう。天井が高く、広い室内は開放感一杯です。

出演（演奏）は I・MA-T O（イマート）というグループです。普段はそれぞれ個々に活動をしている、ヴォーカル・ベース・フラメンコギターの三人の実力派ミュージシャンで昨年結成し、フラメンコのビート感とラテンのリズム感を絶妙なバランスでミックスし、3人という最小限で表現している異色のユニットです。昨秋にはファーストアルバム『I・MA-T O』を発売しました。“ラテン”とひとくくりにしていますが、ラテン音楽には大きく分けてもスペイン・中米・南米、細かく分けても色々な国のものがあります。それぞれの音楽に通じる彼らの演奏はまさにその良いとこ取り。そしてラテンの曲には、結構「あ、これって聴いたことある！」と皆さんにも馴染みの曲も多いものです。年代によっては、ラテンの曲で踊られた、いえ現在も踊っているという方も多いのではないのでしょうか？今回はバンド編成ではないので、社交ダンスとは異なりますが、もちろん身体を動かしていただいてもかまいません！音楽を頭だけではなく身体で感じていただけると嬉しいです。

メンバーのプロフィールを簡単にご紹介します。

ヴォーカル：Masayo（マサヨ）

札幌出身。国内での活動のみならず、本場キューバでの音楽祭等にも出演経験のあるラテンシンガー。サルサ・ラテンジャズをはじめ、日本で数少ないキューバの伝統音楽ソンの歌い手として、現在は東京を中心に活動。

ベース：伊藤寛康（いとうひろやす）

94年から04年までオルケスタ・デ・ラ・ルスに在籍。北米、中南米、ヨーロッパツアーに参加し国連平和賞を受賞。95年グラミー賞にノミネート。現在はプロデューサー・作曲・アレンジも手がけながら、様々なミュージシャンのレギュラーベーシストとしても活躍。

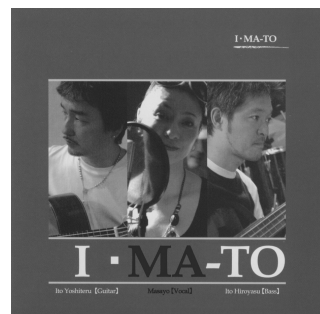
ギター（フラメンコギター）：伊藤芳輝（いとうよしてる）

自らリーダーをつとめるスパニッシュコネクションの活動と共に、様々なアーティストの作曲、アレンジ、プロデュースも手がける。2006年にはNHK総合テレビ土曜ドラマ「魂萌え！」音楽全編を担当。また、この10月から始まるNHK教育テレビ50周年記念番組、人形劇「新☆三銃士」の音楽全編を担当。

芸術の秋、普段から音楽に親しまれている方も、そうでない方も、この機会に生の音楽に触れてみてください。09年度同窓会会員の皆様には、前売り券を特別価格にて販売しております。皆様のご参加、お待ちしております。

（担当 小野千秋）

ファーストアルバム I・MA-TO
Bilongo Lagrimas Negras
Capullito de Aleri コーヒールンバ
Inolvidable Sabor a mi
イパネマの娘 Soy Cantaora



チケット購入ご希望の方は、

電話 090-2058-4453（中根）FAX 011-676-3530（小野）

E-mail: latinlive@hhdoso.sakura.ne.jp

までご連絡ください。

（チケットには限りがありますので、お早めにご連絡ください。）

詳しくはホームページ <http://www.hhdoso.sakura.ne.jp/>

（I・MA-TOのライブ映像にもリンクしています）



洞爺湖町海岸清掃に室蘭から参加して

発達と教育専攻 結城愛子

北海道海浜美化を進める会に賛同して、今年も洞爺湖町海岸清掃に参加させて頂いた。ごみを拾ってみて一番に眼に入ってきたのは、ペットボトル・ジュース缶。他には発砲スチロール・プラスチック・ロープや漁具。自然に還らないものがきれいな海を汚し、環境汚染になっている。海をきれいにすることは、自然の生態系を維持し、地球環境を守っていくことでもある。

地球の温暖化の問題から、放送大学で最初に選択した科目「変化する地球環境」で地球の成り立ちから今後どうしていくと良いかを考え、ごみ問題をより考え実行するきっかけとなった。高度成長期から生活の便利さや使い捨ての生活が多くのごみを生み出した。ファーストフードからスローフードへ、人間の体を作る食物や食事のとり方、食育やエコを考えていくことにつながる。

私はウォーキングをライフワークにしている。室蘭から参加したのは長年続けている札幌ウォーク(2日間)に1日参加し、翌日の1日を清掃に参加。5月の武蔵野周辺のスリーデーマーチに参加したとき、宿泊した三鷹市で朝早く「町をきれいにし隊」というゼッケンを付けながら、高校生と高齢者4人がごみを拾っていた。ここにも町をきれいにしようとして活動している人がいると感心した。秋に行われる北海道ツーデーマーチ(洞爺湖周辺)2日間は全国から参加する。



洞爺湖一周33kmのウォークにいつも参加している。歩いていて気づくことは、缶コーヒーの缶が多く捨てられていること。ごみをなくし、全国のウォーカーにきれいな自然豊かな洞爺湖を満喫してもらいたいと思っている。

室蘭は自然八景・地球岬・イルカや鯨に会える海に囲まれている。太平洋側に面したイタンキ浜の“鳴り砂”は浜の清掃活動で復活している。この自然は財産であり、自然を大切にし、自然の恵みに感謝したい。

ごみを捨てる人がいるからごみがある。ごみを拾っている人はごみを捨てない。私たちにできることは何か？ 知恵とお金と時間、できることから始めるといいと思う。地球環境を考え、運用の資金を確保・提供し、クリーン行動に時間を使う。道中の交流と洞爺湖温泉の入浴は楽しみでもある。人と自然の恵みに感謝。**“ごみ拾い 笑み(恵み)と人の輪 広げよう”**



6月30日火曜日天気曇りのち雨。この日、円山登山組と動物園見学組に分かれて行動する予定だったが、前日からの雨で山は危ないとの判断から全員動物園見学となった。参加者はサークル会員4名と同窓会員2名の総勢6名。皆、久しぶりの動物園なので童心に返り夢中になって動物の見学を楽しんだ。昼食時間となり、各自持ち寄ったお弁当を交換しながらカラスも仲間入り（シッシなどと言いながら）して親睦を深めた。小雨が降り肌寒い天候の中でも子供達の歓声が多く、参加者全員5歳ほど若返ったんでないかい？お目当ての白熊のベビィが非公開でちょっぴり残念でしたが、濃い緑の中、キリンや象の前で記念撮影をして動物園を満喫しました。



放送大学 道史学習サークルの見学会に参加して

大橋 ちよ子

去る6月26日(金)放送大学 道史学習サークルからの見学会のお誘いで、札幌市アイヌ文化交流センターを見学。数々の展示物を見ながらアイヌの人々の生活・文化を色々と学ぶことが出来ました。埼玉学習センターの学生さんも飛び入り参加で、楽しく和食料理もいただきました。道史学習サークルの皆さんありがとうございました。

札幌市アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）札幌市南区小金湯27にて



会費納入と新入会員募集のお知らせ

2009年度の継続会員の方は、今年度の年会費1,000円を下記口座へ納入くださるようご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金1,000円、年会費(初年度)1,000円を下記口座へご送金ください。(次年度以降は年会費のみとなります)

郵便口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

学友会文化祭のお知らせ



日程：9月15日(火)～9月20日(日)

発表会・バザーは9月19日(土)

場所：放送大学北海道学習センター
6階大講義室など

展示：絵画・書道・写真など

発表：合唱・器楽演奏・研究発表など

バザー：書籍・食器・衣料品など

主催：放送大学北海道学習センター学友会
：放送大学北海道学習センター

皆様の参加とご協力をお願い致します



放送大学を宣伝してください！

皆さんの『口コミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先
放送大学北海道学習センター
TEL 011-736-6318

広告原稿募集！

同窓会会報では在学生のサークル活動などの人員募集広告を奉仕で掲載します。次号は11月30日が〆切です。この囲み程の原稿をお持ち下さい。尚、紙面に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

お申込はE-Mailにて

tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp 中根宛に
お願いします。

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

(宛先)

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

北海道大学構内

放送大学北海道学習センター内

放送大学北海道同窓会

URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

編集後記

小野さん担当

広報担当